



B.F.C.体験活動



6月3日(金)に島内にある消火栓からの放水活動を行いました。粕屋北部消防本部の方々と水上分団の方々の指導を受けながら、分校付近の消火栓から、実際の放水を経験することができました。いつもの軽可搬ポンプでの放水と違い、水圧が強く数名でしっかりとホースを支える必要があることを体感しました。2・3年生はホースを持つ姿に安定感と力強さがあり、これまでの経験が着実に身についているたくましさを感じることができました。1年生もB.F.C.一員としての自覚が高まっており、今後の練習でさらに力をつけてくれることを期待しています。

【生徒の感想(お礼状より抜粋)】

○知らないことが多すぎて、すごく不安でどうしようもなかったのですが、優しく一から教えてくださったのでうれしかったです。思ったよりも水圧が強く後ろに少し下がってしまうこともありました。でもホースから出た水はとてもきれいでした。

○消火栓から放水するのは初めての体験だったので少し心配でした。しかし実際にやってみると思っていたよりもスムーズにることができたのでちょっと安心しました。

CSの日ー防災学習ー ①救急救命講習



6月18日(土)のCSの日に防災学習を行いました。午前中は、粕屋北部消防本部の方々に来校していただき救急救命講習を受けました。水泳学習を始めるにあたり、海での事故防止の意識を高め、日常生活での事故発生時に対応できるようになることをねらいとしていました。最初に、早期に救命措置を行うことの重要さや具体的な救命措置の方法について学び、その後、人形を患者に見立てて心臓マッサージや数名で連携して救命する方法などを実践練習しました。生徒たちは真剣に取り組み、日頃のBFC活動を通して得た「命を守る」意識の高さを感じました。初めて体験する生徒もいましたが、皆が気持ちを一つにして取り組んでいることが伝わりました。



②渡船避難訓練



午後から、日頃から漁村留学生が通学で利用している渡船での緊急時に備えて避難訓練を行いました。乗組員の方たちの指示のもと、救命胴衣を装着し、船外に避難することを想定して避難経路を確認しました。窮屈に感じた救命胴衣も、頭が抜けてしまわないためにきつめに締めることができた装着の仕方であることや、驚くほど大きな非常サイレンが鳴ることなど実際に体験してみないと知らなかったことが多くありました。生徒たちは、初めての体験に緊張気味でしたが、指示にしたがって落ち着いて行動することができました。「もしも」に備えて訓練する大切さを体感した一日でした。

i-study10プロジェクト

6月3日から17日まで家庭学習強化週間として「i-study10プロジェクト」に取り組みました。3つの目標「自分で家庭学習の内容を工夫して、何をするか考え、実行しよう」「アウトプット型復習を積極的に行おう」「自分に合った計画を立てよう」をもって考査前15日間取り組みました。期間中は、教科の先生からのアドバイスをもとに自学ノートを工夫したり、渡船での移動時間を有効活用して学習に取り組んだりする生徒の姿が見られました。テスト期間は終えましたが、日頃から活用しているコンフィデンントノートを使って日々の家庭学習に計画的に取り組める力を身につけて欲しいと思います。



中体連卓球大会



6月25日(土)に中体連の糟屋区卓球大会(個人戦)が開催されました。22日の部活動壮行会では、一人ずつ大会に向けての思いや目標を伝え合いました。大会へのそれぞれの前向きな目標があり、仲間を思いやる気持ちがあることを皆で共有し、とても良い雰囲気で大会に臨むことができました。男子は気迫のこもったプレーを見せ、3名ともが3回戦以上まで勝ち進みました。女子も気合十分に試合に臨み、それが満足のいく試合内容で個人戦を終えることができました。筑前地区大会への出場は叶いませんでしたが、全員が精一杯戦い善戦しました。7月2日(土)には団体戦を迎えます。チーム相島分校の礼儀正しさと団結力を存分に發揮してくれることを願っています。



7月の行事予定

8月の行事予定

規範意識學習

7月7日(木)に講師を招いて「私とインターネット」講演会を行います。主にインターネット使用上の危険性について具体的に講話ををしていただきます。夏休み前にこの学習を行うことで、インターネットを安全に使用し、社会規範を遵守する判断力や行動力を身につけて欲しいと思います。感染症対策として生徒のみでの講演会となりますので、資料は持ち帰ることになりますので、この機会にぜひご家庭でもインターネットの安全な使用についてお子様とお話ししてみてください。



熱中症対策

マスクは飛沫の拡散予防に有効で、「新しい生活様式」でも一人ひとりの方の基本的な感染対策として着用をお願いしています。ただし、マスクを着用していない場合と比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。

したがって、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合または会話をしない場合には、マスクをはずすようにしましょう。

「厚生労働省ホームページ参照」



写真で見る相島分校のひとこま



＜花壇植え替え作業中＞



＜分校の梅で梅干し作り＞



〈水泳授業〉



〈みんなでエール〉



〈新しい軽可搬ポンプ〉